

2016年11月10日

各 位

会 社 名 パ ン チ 工 業 株 式 会 社
 住 所 東 京 都 品 川 区 南 大 井 六 丁 目 2 2 番 7 号
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 C E O 武 田 雅 亮
 (コード番号：6165 東証第一部)
 問 合 せ 先 取 締 役 C F O 兼 管 理 本 部 長 村 田 隆 夫
 T E L . 0 3 - 5 7 5 3 - 3 1 3 0

**第2四半期連結累計期間における業績予想と実績値との差異
 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ**

2016年5月11日に公表いたしました2017年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、通期の業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2017年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値との差異（2016年4月1日～2016年9月30日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	18,050	970	982	731	66.09
実 績 (B)	17,846	841	791	549	49.73
増 減 額 (B - A)	△203	△128	△190	△181	
増 減 率 (%)	△1.1	△13.3	△19.4	△24.8	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2016年3月期第2四半期)	18,030	960	931	723	65.44

2. 業績予想との差異が生じた理由

当第2四半期連結累計期間の売上高は、好調な海外事業が想定以上の為替変動による下押し圧力を受け、一方国内事業は主要なお客様への販売が計画を下回り、全体として低調に推移しました。利益面では、原価低減、経費の圧縮に努めましたが、売上高の減少分をカバーしきれず、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益ともに業績予想を下回る結果となりました。

3. 2017年3月期通期連結業績予想数値の修正（2016年4月1日～2017年3月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	37,000	2,000	1,935	1,400	126.57
今 回 修 正 予 想 (B)	35,700	1,800	1,700	1,250	113.11
増 減 額 (B - A)	△1,300	△200	△235	△150	
増 減 率 (%)	△3.5	△10.0	△12.1	△10.7	
(ご参考) 前期実績 (2016年3月期)	36,755	1,986	1,666	1,249	112.94

4. 業績予想修正の理由

当第2四半期連結累計期間に引き続き、第3四半期以降につきましても、海外事業における為替変動による影響や、国内事業における景気の停滞が見込まれるため、通期の業績予想を修正いたします。

なお、当社グループは、2016年4月よりスタートした中期経営計画「バリュークリエーション2020」（以下、「VC2020」）において、「販売5極体制の確立」「お客様サービスの向上」「高収益事業の推進とR&D強化」及び「働き方改革」の4つを重点経営課題として定め、これらに取り組んでおり、現在までにベトナム工場の本稼働（2016年10月）、米国販売拠点の設立（同年11月予定）等、計画は予定通り進捗しております。これらの施策をさらに推し進め、「VC2020」2年目以降の業績回復と目標必達を期して、引き続き取り組んでまいります。

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記予想の内容は、当社が本資料作成日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上